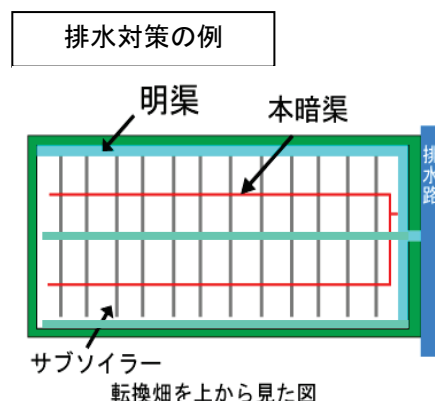


## 排水対策を徹底し、適期に播種しましょう！

### ☆排水対策のポイント

※そばは湿害に弱く、生育初期の排水不良は致命的になります。特に転換畑での安定収量確保は『排水対策の良し悪し』にかかっています。

- ・ 圃場の周囲 及び 圃場内に5～6m間隔で明渠を掘りましょう。明渠は排水溝にしっかり接続を!!
- ・ 水田に隣接している圃場では、地下水位を下げるために、圃場周囲の明渠は特に深く掘りましょう（地下水位が40cm以下となるように）。
- ・ 排水の悪い転換畑では、明渠だけでなく心土破碎や弾丸暗渠等を組み合わせましょう。



### ☆耕起・施肥のポイント

耕起・碎土は、碎土率70%（1cm以下の土塊が70%）以上を目標にしていねいに行いましょう。

- ◎基肥量：10a 当たり窒素2～4kg、リン酸6～9kg、カリ6～9kg  
前作に野菜などを栽培した圃場はリン酸、カリのみ施用

### ☆播種のポイント

#### ① 適期播種

中山間部：7月下旬～8月上旬、 平坦部：8月上旬

適期内に播種できるよう、計画的に準備を進めましょう

#### ② 播種量

条播：5～6kg/10a 散播：6～7kg/10a（種子が大粒の場合は+1kg）  
m<sup>2</sup>当たり100～120本の苗立本数が目標

※播種直後の降雨や停滞水は、そばの出芽に大きく影響します。  
播種後数日は天候が良い時を見計らって播種しましょう。